

QST高崎研との連携協定事業

1 目的

令和6年4月23日(火)、本校とQST高崎量子技術基盤研究所(QST高崎研)の間で連携協力事業に関する協定を結んだ。本協定は、本校SSHの課題研究の深化や高崎量子技術基盤研究所との研究発表会やイベント等を通じた交流、さらには、科学教育の推進や科学技術の理解増進に寄与する取組を共創することを目的としている。

2 概要

(1) SSH課題研究

SPⅡα(2年SSHクラス)の課題研究を進めるにあたり、QST高崎研から現役研究者にメンターとして来校していただいた。定期的に研究テーマの設定、実験の計画、実験の実施、考察、プレゼンテーションの作成などの研究のあらゆる場面で指導・助言を受けた。

(2) QST高崎研施設訪問

「先輩、教えてください」事業の一部として、7月3日(水)にQST高崎を訪問した。研究内容に関するプレゼンテーションを聴講したり、

研究施設を見学したりした。

(3) QST高崎研一般公開出展

10月20日(日)に開催されたQST高崎研施設公開に5つの理数系部活動(物理・化学・生物・地学・数学)がブースを出展した。

(4) QST高崎サイエンスフェスタ

12月10日(火)にQST高崎サイエンスフェスタにて、2年SSHクラスの8つの研究班がポスター発表を行った。

3 成果と課題

現役研究者のメンターから指導・助言を受けたことで、研究に大きな進歩をもたらした。研究の過程を振り返り、時には軌道修正を図る機会として機能した。また、ポスター発表やブースの出展が生徒の研究活動や部活動の一つの目標となり、活動を進める原動力となった。

国立研究開発法人とSSH指定校との連携ロールモデルとして県内外へ普及させるための手立てをさらに充実させることが課題である。

理数分野 QST高崎量子技術基盤研究所

事業を共創



SSH課題研究
QST高崎研の
現役研究者メンターを
月1回程度派遣



QST高崎研施設訪問
国の重要戦略分野の
1つである量子技術に
関する先端研究を学ぶ



QST高崎研一般公開出展
5つの理数系部活動が
科学教室を出展
地域の小中学生へ普及

普及の場を
共創



QST高崎
サイエンスフェスタ
国内外の研究者や他校生徒、
地域住民との
サイエンスを通じた交流